

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		重症心身障害児であればスペースは確保されていると感じる。	来年度より重症心身障害児以外の児童の受入れが増える予定であり、活動内容によっては、狭く感じる場面も考えられるため、場所の確保を検討していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		日によってそうでない時もあるが、ほぼカバーできている	来年度より重症心身障害児以外の児童の受入れが増える予定である為、職員の確保を行い、状況に合わせて適切な配置ができるように努めていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			児童への支援や活動内容の振り返りは行うことができているが、その他の業務に対して、目標設定や振り返りがあまりできていなかったため、もっと全職員での話し合いを行っていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		今年は、『成長療育支援システムHUG』で保護者向け評価表のアンケートを行っている。	保護者からの意見に対し、改善を行っていくよう努めます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在、第三者による外部評価は行っていないため、今後、検討を行い、実施することができるように努めます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		虐待防止	研修・セミナー等については、管理者より職員全体に対して、希望者を募り参加できるように調整しています。事業所として必須の研修は、管理者から各職員へ伝え、参加することとしています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			来年度より重症心身障害児以外の児童の受入れも多数予定しているため、発達や社会生活等のアセスメントができるものを実施していくことができるよう準備していきます。また、重症心身障害児の明確なアセスメントツールがない為、話し合い、どのようなものが適切なのか検討していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		事前(1ヶ月前)に計画し、準備をしている	計画立案及びプログラム作成期間をもっと早く行い、事前準備期間を長く確保することができるように検討していきます。

適切な支援の提供

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		落ち着いて活動に参加ができるよう、改善すべき点があるのでは…?	活動プログラムが固定化しないように準備しているが、固定化する活動に対しては難易度を変えることやスモールステップで取り組むことができるように検討を重ねていきます。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			重症心身障害児を主として受け入れているため、計画の主となる部分が医療ケアや入浴サービスになっていることが多いです。可能な部分で、組み合わせさせて計画を作成していくことができるように努めます。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	○			
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか		○		毎日できていない状況です。気になる点や共有する情報については、その都度、伝え合っていますが、その日行われた支援の振り返りは不足していると感じます。毎日の支援の振り返りができるように努めていきます。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		現在、交流を図ることができていません。今後、保護者の要望等を確認しつつ、必要な場面で交流が図れるように努めてまいります。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		必要に応じて、保護者支援(相談、助言等)は行っていますが、明確なペアレント・トレーニングは、現在できていないと考えられます。ペアレント・トレーニング等の支援を行っていくことができるように努めてまいります。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉘	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言を支援を行っているか	○			
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今年度はコロナの関係でできなかった	現在、新型コロナウイルス感染症により、実施できていませんが、どのような形であれば支援していくことができるか検討していきます。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		システム導入により、写真を添付したりして、より分かりやすくなっている	毎回の利用時の様子等は、『療育支援システムHUG』を導入することで、情報の共有はしやすくなってきていると感じます。今後も継続しつつ、定期的な会報等についても検討していきます。
	㉜	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		新型コロナウイルス感染症の影響で地域の方を招待することができない。今後も検討を重ね、地域住民の方々との交流が行えるように努めます。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			